



埼玉県のマスコット コバトン

# 埼玉県 獣医師会 会報

## 第 599 号

平成25年 9 月20日編集

発行所  
公益社団法人 埼玉県獣医師会  
〒330-0835 さいたま市大宮区北袋町1-340  
(埼玉県農業共済会館内)  
電話 048(645) 1 9 0 6  
FAX 048(648) 1 8 6 5  
E-mail : s-vma@vesta.ocn.ne.jp  
URL : <http://www.saitama-vma.org/>  
振替口座 00110 - 9 - 195954番

発行責任者 高橋 三男

編集責任者 三森 信行

印刷所 (株)アサヒコミュニケーションズ

### 記事の内容

平成25年度関東・東京合同地区獣医師大会  
(群馬)、獣医学術関東・東京合同地区  
学会開催……………1

台湾における動物の狂犬病の発生状況に  
ついて……………8

平成25年度における高病原性鳥インフル  
エンザ等の防疫対策の強化について ……9

#### 予告

東支部学術講習会のお知らせ……………10

北支部・八日会合同学術研修会のお知らせ…10

東支部学術講習会のお知らせ……………11

北支部・八日会ほか畜産関係団体合同学術  
研修会のお知らせ……………11

南第一支部・南第二支部合同学術講習会の  
お知らせ……………12

さいたま支部学術講習会のお知らせ…………12

西支部学術講習会のお知らせ……………13

北支部・八日会合同学術研修会のお知らせ…13

#### 新入会員報告

新入会員紹介……………14

#### 会員の活動報告

ウガンダ共和国での家畜衛生技術協力…………15

### ひろば

新入会員の抱負……………17

北支部・八日会合同学術研修会開催報告…18

平成25年度関東・東京合同地区獣医師親善  
チャリティーゴルフコンペ結果報告…………18  
第123回埼玉県獣医師会ゴルフ同好会コン  
ペ報告……………19

### お知らせ

日本獣医師会主催「2013動物感謝デー  
in JAPAN」開催案内……………20

「彩の国畜産フェア2013」開催……………21

「彩の国さいたま動物愛護フェスティバ  
ル2013」開催……………22

### 訃報

故 五十嵐幸男先生のご逝去を悼んで ……23

### 切り抜きニュース

○犬猫「殺処分ゼロ」目標

ー改正法 飼い主責任明確化が追い風ー…26

○44時間ぶり愛犬と再会……………26

埼玉県獣医師会学術広報版……………27

### 事務局より

事務局メモ……………29

編集後記……………30

# 公益社団法人 埼玉県獣医師会 会員憲章

わたくしたち埼玉県獣医師会会員は、それぞれの職域において、その責務を遂行し、県民の福祉増進に寄与するため、ここに会員憲章を定めます。

わたくしたち埼玉県獣医師会会員は

1. 動物の生命を守り、ひとびとの生活を豊かにしよう

1. 獣医学術を研鑽向上し、確信を持って業務に邁進しよう

1. 動物愛護思想を向上し、心豊かな生活をしよう

1. 環境衛生を向上し、福祉増進の実をあげよう

1. 職域を尊重し、倫理の昂揚をはかろう

## 平成25年度

# 「関東・東京合同地区獣医師大会、獣医学術関東・東京合同地区学会開催

平成25年9月8日(日)、群馬県渋川市の「ホテル木暮」において、平成25年度関東・東京合同地区獣医師大会、獣医学術関東・東京合同地区学会が盛大に開催されました。

厳しかった暑さも漸く和らぎ始めた折、会場には800名を超える多くの関東・東京地区獣医師会関係者が集い、地区獣医師大会並びに獣医学術発表、市民公開講座、動物用医薬品機器の展示等が行われました。



会場となった「ホテル木暮」

## 平成25年度関東・東京合同地区獣医師大会

地区獣医師大会は、午後1時から1階「SAKURAの間」において開催されました。

松本尚武群馬県獣医師会副会長の開会宣言に続き、物故会員の御冥福と動物達への鎮魂の祈りを込めて黙祷を捧げるとともに、「獣医師の誓い—95年宣言」の朗読が行われた後、大会会長の木村芳之群馬県獣医師会会長から歓迎と参加への御礼の挨拶がありました。



大会会場



開会挨拶する木村芳之大会会長（群馬県獣医師会会長）

続いて表彰式に移り、先ず関東地区獣医師会連合会表彰規程に基づき、この度連合会理事を退任された越久田健前横浜市獣医師会会長が特別功労者として表彰されました。

また、獣医事功績者表彰については、各都県市獣医師会から推薦された66名の受賞者が紹介され、代表して群馬県獣医師会の内山博司先生が木村芳之大会会長から表彰状の交付を受けるとともに、謝辞を述べました。

本県の会員で受賞の栄に輝かれた先生方は次の7名です。誠におめでとうございます。今後とも益々の御活躍を御祈念申し上げます。

### 獣医事功績者表彰を受賞された埼玉県獣医師会の先生方（支部順）



高橋一成 先生  
(さいたま市支部)



故 本橋幸男 先生  
(南第一支部)



高田峰昭 先生  
(西支部)



小林孝之 先生  
(北支部)



尾崎里香 先生  
(東支部)



斉藤利和 先生  
(衛生支部)



近藤晴哉 先生  
(農林支部)

祝辞は、御来賓の農林水産省消費・安全局長（代理 畜水産安全管理課課長補佐 荻窪恭明様）、厚生労働省健康局長及び医薬食品局長（代理 輸入食品安全対策室長 三木朗様）、環境省自然環境局長（代理 関東地方環境事務所野生生物課長 徳田裕之様）から、また、群馬県知事 大澤正明様（代理 茂原璋男副知事）、渋川市長 阿久津貞司様からは県政、市政運営に当たっての日頃の獣医師の活動への御礼と大会開催への御祝辞を頂くとともに、日本獣医師会からは、藏内勇夫会長が祝辞を述べられました。

次いで日本獣医師会副会長 近藤信雄様、日本獣医師政治連盟委員長 北村直人様を始め出席の御来賓が紹介されました。

続いて議事に入りました。議長に大会会長の木村芳之群馬県獣医師会会長を選出した後、昨年度の大会を担当した埼玉県獣医師会 高橋三男会長が前年度事業の実施状況について経過報告を行いました。





前年度事業の経過報告をする高橋三男会長  
後列左から 木村芳之群馬県獣医師会会長、藏内勇夫日本獣医師会会長、  
荻窪恭明農林水産省消費・安全局畜水産安全管理課課長補佐

次いで、各都県市獣医師会から提出された第1号から第6号議案が一括上程され、いずれも原案のとおり承認されました。承認された議案は直ちに大会宣言として決議されるとともに、大会スローガンとして会場に掲げられ、各会員はそれぞれの立場でこれらの早期実現に邁進していくことを誓い合いました。

## 平成25年度関東・東京合同地区獣医師大会宣言

- 1 熟年世代が安心して動物と暮らせる社会の構築
- 2 人と動物の共通感染症について正しい知識の提供
- 3 マイクロチップの装着並びに登録の義務化
- 4 口蹄疫等悪性伝染病の防疫体制の強化
- 5 動物ふれあい教室（動物を介した児童等の情操教育）の拡充・強化
- 6 災害時の迅速な動物救護活動の体制整備

## 平成25年度関東・東京合同地区獣医師大会スローガン

- 1 熟年世代が安心して動物と暮らせる社会を構築しよう
- 2 人と動物の共通感染症について正しい知識を提供しよう
- 3 マイクロチップの装着並びに登録の義務化を実現しよう
- 4 口蹄疫等悪性伝染病の防疫体制の強化を推し進めよう
- 5 動物ふれあい教室（動物を介した児童等の情操教育）の拡充・強化をはかりよう
- 6 災害時の迅速な動物救護活動の体制整備をはかりよう

終わりにあたり、次期開催を担当する山梨県獣医師会 佐藤忠敬会長が挨拶に立ち、開催の日程を次のとおり紹介し、多数の参加を呼び掛けました。

平成26年度関東・東京合同地区獣医師大会、獣医学術関東・東京合同地区学会の開催日程

月 日 平成26年 9 月 7 日(日)

会 場 アピオ

山梨県中巨摩郡昭和町西条3600

電話 055-222-1111

多くの会員参加のもと開催された平成25年度関東・東京合同地区獣医師大会は、午後2時、小板橋和彦群馬県獣医師会副会長の御礼の言葉を持って閉会となりました。

## 平成25年度獣医学術関東・東京合同地区学会

日本産業動物獣医学会（地区学会長 白井淳資東京農工大学農学部教授）、日本小動物獣医学会（同 亘敏広日本大学生物資源科学部教授）、日本獣医公衆衛生学会（同 山本茂貴東海大学海洋学部教授）の関東・東京合同地区学会は、午前10時から各会場（小動物獣医学会は2会場）に分かれ学術発表会が行われました。

会場では地区学会長挨拶の後、昼食と獣医師大会を挟み、午後4時まで研究発表が行われました。発表演題数は産業動物獣医学会19題（本県からの発表は1題）、小動物獣医学会37題（同 2題）、獣医公衆衛生学会19題（同 2題）の合計75題で、本県からは5題が発表されました。

### 発表された先生方（各学会の発表順）

#### 産業動物獣医学会



福田昌治先生  
(農林支部)

#### 小動物獣医学会



灰井康佑先生  
(団体支部)



北宮絵里先生  
(団体支部)

#### 獣医公衆衛生学会



土井りえ先生  
(衛生支部)



斉藤守弘先生  
(衛生支部)

## 審査員や座長を務められた地区学会幹事の先生方

産業動物獣医学会



鴻巣泰先生  
(農林支部)

小動物獣医学会



諸角元二先生  
(東支部)

獣医公衆衛生学会



斎藤章暢先生  
(衛生支部)

## 市民公開講座

広く一般市民を対象とした市民公開講座は、午後2時15分から1階「SAKURAの間」において次により開催されました。

演 題 東日本大震災から今日まで

—福島県獣医師会の小動物における救護活動について—

講 師 (公社) 福島県獣医師会 東日本大震災動物救護対策委員長

千葉小動物クリニック院長 河又 淳 先生

## 地区学会優秀発表者表彰・交流会

各学会の発表終了後、午後5時15分から地下1階コンベンションホール「飛鳥」において優秀発表者の表彰式並びに交流会が開催されました。

優秀演題の発表に先立ち、大会会長の木村芳之群馬県獣医師会会長から本日の学会が多くの会員参加の下、成功裏に終了することができたことへの感謝の言葉が述べられました。

続いて各学会長から優秀発表者の選定結果について発表がありました。選定に当たっては、地区学会長及び地区学会幹事、審査員からなる審査会で審査要領に基づき評価し、地区学会長賞及び学術奨励賞が決定されたものであり、受賞者にはそれぞれの地区学会長から表彰状が授与されました。

最優秀となる地区学会長賞には、多くの発表の中から産業動物学会2題、小動物学会2題、獣医公衆衛生学会2題がそれぞれ選定されましたが、残念ながら本年は本県からの入選は叶いませんでした。

表彰式に続く交流会は、北村直人日本獣医師政治連盟委員長の乾杯の音頭で懇親に入り、参加した約320名の会員は和やかな雰囲気の中、互いに交流を深めておりました。宴も進み、午後7時、高橋三男埼玉県獣医師会会長の大締めをもって交流会は閉会となりました。



締めをする高橋三男会長



交流会に参加した埼玉県獣医師会の会員

左から 鴻巣泰産業動物獣医学会幹事（農林支部）、斉藤守弘先生（衛生支部）、小暮一雄副会長、諸角元二小動物獣医学会幹事（東支部）、北村直人日本獣医師政治連盟委員長、大橋邦啓理事（北支部）、藏内勇夫日本獣医師会会長、新井宣明理事（さいたま市支部）、近藤信雄日本獣医師会副会長、斎藤章暢獣医公衆衛生学会幹事（衛生支部）、高橋三男会長、中村滋副会長、木村芳之大会会長（群馬県獣医師会会長）

平成25年度は数多く演題が発表され、いずれもレベルの高い内容であり、参加者にとって意義深い大会・学会となりました。大変お忙しい中、発表頂きました先生方、また、熱心に御聴講頂いた先生には大変お疲れ様でした。

来年2月21日（金）から23日（日）には、千葉市で日本獣医師会獣医学術学会年次大会が開催され、地区学会長賞を受賞した演題を含め、多数の学術発表や講演が行われますので、多くの皆様の御参加をお待ちしております。

平成25年度関東・東京合同地区獣医師大会、獣医学術合同地区学会への参加者  
（埼玉県獣医師会）

（人）

| 支部名  | 開業支部 | 衛生支部 | 農林支部 | 団体支部 | 事務局 | 合 計 |
|------|------|------|------|------|-----|-----|
| 参加者数 | 31   | 3    | 5    | 3    | 4   | 46  |



## 平成25年度獣医学術関東・東京合同地区学会 発表演題

### 平成25年度日本産業動物獣医学会（関東・東京）

白井淳資地区学会長（東京農工大学農学部教授）のもとで19題の発表がありましたが、本県からの発表は次のとおりです。

演 題 名：過去10年間に管内で確認された搾乳牛下痢症の疫学調査

発 表 者：福田昌治（埼玉県熊谷家畜保健衛生所）

### 平成25年度日本小動物獣医学会（関東・東京）

亘 敏広地区学会長（日本大学生物資源科学部教授）のもとで37題の発表がありましたが、本県からの発表は次のとおりです。

演 題 名：保冷剤の誤食によりエチレングリコール中毒を起こした犬の1例

発 表 者：灰井 康佑 ほか（とがさき動物病院）

演 題 名：神経症状を契機として診断された真珠腫を合併した先天性外耳道狭窄の犬の一例

発 表 者：北宮 絵里 ほか（あさか台動物病院）

### 平成25年度日本獣医公衆衛生学会（関東・東京）

山本茂貴地区学会長（東海大学海洋学部教授）のもとで19題の発表がありましたが、本県からの発表は次のとおりです。

演 題 名：サルモネラ検査における培地及び免疫磁気ビーズ（IMS）法による効率的検査法の検討

発 表 者：土井 りえ ほか（埼玉県食肉衛生検査センター）

演 題 名：*Sarcocystis fayeri*病原性タンパク質の遺伝子及びアミノ酸配列、及び組換えタンパク質の作製とその性状

発 表 者：斉藤 守弘 ほか（埼玉県食肉衛生検査センター）

## 地区学会長賞受賞発表演題

#### <日本産業動物獣医学会>

- ①「遺伝子検査によるオーエスキー病ウイルスの野外株とワクチン株の識別」 高梨 資子（群馬県）
- ②「豚の反芻獣ペスチウイルス感染事例におけるウイルス検査について」 川西菜穂子（茨城県）

#### <日本小動物獣医学会>

- ①「胸腺種の猫に見られた剥脱性皮膚炎の1例」 佐藤 祐（川崎市）
- ②「ビスコエクストラクション法による水晶体嚢内摘出術を実施した水晶体脱臼のイヌの7例」 小林 義崇（横浜市）

#### <日本獣医公衆衛生学会>

- ①「新しい病原因子を標的とした結核ワクチンの開発」 船渡川圭次（栃木県）
- ②「カンピロバクター汚染対策に凍結処理は有効か」 水谷 昌代（群馬県）

事務連絡

平成25年9月11日

地方獣医師会会長 各位

公益社団法人 日本獣医師会

専務理事 矢ヶ崎 忠 夫

## 台湾における動物の狂犬病の発生状況について

このことについて、平成25年9月11日付け事務連絡をもって、厚生労働省健康局結核感染症課から別添写しのとおり情報提供があったので、貴会関係者に周知方よろしくお願いいたします。

このたびの情報提供は、先般より台湾における野生動物の狂犬病の発生について、①台湾行政院農業委員会動植物検疫局が、9月6日付けで、過去に採取された検体を用いた遡り調査の結果、2010年7月に採取したイタチアナグマの検体で狂犬病の感染が確認された旨の公表を行ったこと、②9月10日付けで、台湾において狂犬病に感染・発症した飼い犬が確認された旨の公表があったことについて、関係部局への情報提供を依頼されたものです。

貴会におかれましても、引き続き本病予防の重要性に関する普及啓発を強化するとともに、特に小動物診療施設においては、今春に狂犬病予防注射を接種していない犬の飼い主に対して確実に接種するよう呼びかけ、予防注射率の向上を図り、本病が国内で発生することのないよう、関係会員に周知いただきたく、協力をお願いいたします。



事務連絡

平成25年9月11日

各〔都道府県〕  
〔政令市〕 狂犬病予防担当課 御中  
〔特別区〕

厚生労働省健康局

結核感染症課

## 台湾における動物の狂犬病の発生状況について（情報提供）

先般より情報提供している台湾における野生動物の狂犬病について、台湾行政院農業委員会動植物検疫局は、9月6日付で、過去に採取された検体を用いた遡り調査の結果、2010年7月に採取したイタチアナグマの検体で狂犬病の感染が確認された旨の公表を行いました。

また、9月10日付で、台湾において狂犬病に感染・発症した飼い犬が確認された旨を公表しています。これは、狂犬病に感染したイタチアナグマに咬まれた犬を収容施設において経過観察していたところ、当該犬が発症し狂犬病が確認されたものです。

貴管下におかれては、引き続き、犬の登録・予防注射の推進等、狂犬病予防対策に万全を期すとともに、管内市町村等の関係部局への情報提供をよろしくお願いいたします。

○行政院農業委員會動植物檢疫局ウェブサイト（9月6日付及び10日付）

[http://www.baphiq.gov.tw/newsview.php?typeid=1939&typeid2=&news\\_id=8190](http://www.baphiq.gov.tw/newsview.php?typeid=1939&typeid2=&news_id=8190)

[http://www.baphiq.gov.tw/newsview.php?typeid=1939&typeid2=&news\\_id=8209](http://www.baphiq.gov.tw/newsview.php?typeid=1939&typeid2=&news_id=8209)

○厚生労働省ウェブサイト 狂犬病

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou10/>

○農林水産省ウェブサイト 水際における狂犬病対策について

<http://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/eisei/rabies/index.html>

25日獣発第179号

平成25年9月19日

地方獣医師会会長 各位

公益社団法人 日本獣医師会  
会長 藏内 勇夫  
(公印及び契印の押印は省略)

## 平成25年度における高病原性鳥インフルエンザ等の防疫対策の 強化について

このことについて、平成25年9月6日付け25消安第2884号をもって、農林水産省消費・安全局長から別添のとおり通知がありました。貴会関係者に周知方よろしくお願いいたします。

このたびの通知は、昨年度及び一昨年度は、我が国の家きん飼養農場においては、高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザの発生はなかったものの、本年に入ってから中国、台湾、北朝鮮等我が国の近隣諸国においては散発的な発生が認められ、本年4月から5月にかけて、生鳥市場の鶏や鳩から鳥インフルエンザウイルス（H7N9 亜型）が分離されたこと、また、これらの疾病のウイルスは、渡り鳥等の野鳥によって国内に持ち込まれることが高く、その侵入ルートも複数存在する可能性がある指摘され、依然として海外から我が国にこれらの疾病のウイルスが侵入する可能性が高いものと考えられることから、家きんの飼養農場へのこれらの疾病のウイルスの侵入防止及び万が一の発生のまん延防止対策に万全を期するよう、各都道府県知事宛てに通知した旨、了知の上、本会会員に家畜防疫の重要性を十分に理解し、周知するとともに、都道府県の家畜防疫員による飼養衛生管理の確認のための定点モニタリング及び強化モニタリングの検査対象農場の選定等、協力を依頼されたものです。

別添 略

## 予 告

## 東支部学術講習会のお知らせ

(獣医師生涯研修事業ポイント対象 カリキュラム番号 小3 (9))

東支部長 八木 賢裕

東支部では10月13日(日)日本大学獣医外科学研究室 枝村一弥先生(小動物外科専門医)をお招きし、「あなたは運動器疾患をどこまで診断できますか?」～苦手克服!! 診断精度を上げるためのスキルアップ講座～と題し学術講習会を開催いたします。

この講習会では、整形外科疾患の視診、歩行検査、触診のコツを実症例とからめながら概説していただきます。

また、単純X線検査、神経疾患や腫瘍性疾患との鑑別法も含んでいるので、いずれの病院でも行うことができる日常テクニックと伺っています。

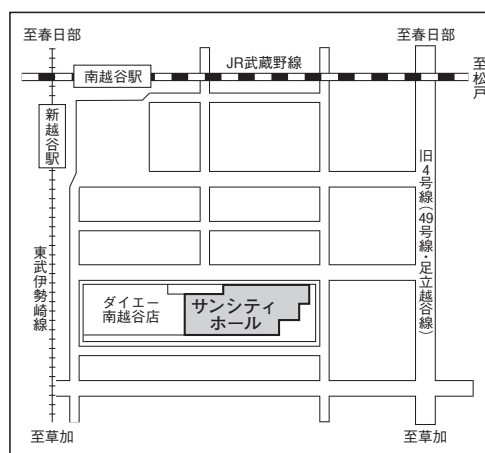
**日 時** 平成25年10月13日(日) 午後2時30分～午後6時頃まで(受付 午後2時～)  
(講演内容、休み時間などで多少前後いたします。)

**場 所** 越谷サンシティ  
〒343-0845 越谷市南越谷1-2876-1  
TEL048-985-1111

**演 題** 「あなたは運動器疾患をどこまで診断できますか?」  
～苦手克服!! 診断精度を上げるための  
スキルアップ講座～

**講 師** 日本大学獣医外科学研究室 枝村 一弥 先生  
**参加費** 埼玉県獣医師会会員 1,000円  
(シラバス代、飲み物代含む)  
会員以外の受講者 5,000円  
(シラバス代、飲み物代含む)

当日の講演内容の録音、録画はお断りいたしております。  
皆様のご協力をお願いいたします。



## 北支部・八日会合同学術研修会のお知らせ

(獣医師生涯研修事業ポイント対象 カリキュラム番号 小2 (2))

北支部長 大橋 邦啓  
八日会会長 湯本 哲夫

北支部・八日会では、小動物における麻酔学の研修会を企画いたしました。多数の先生方の出席をお待ちしております。

**日 時** 平成25年10月20日(日)  
13:30～17:00  
**場 所** 熊谷文化創造館 さくらめいと  
埼玉県熊谷市拾六間111-1  
TEL048-532-0002

**演 題** 「麻酔学について(仮題)Ⅱ」  
**講 師** 酪農学園大学獣医学群獣医学類  
獣医麻酔ユニット  
山下 和人 先生

**参加費** 埼玉県獣医師会・八日会会員 無料  
会員以外の受講者 3,000円





## 東支部学術講習会のお知らせ

(獣医師生涯研修事業ポイント対象 カリキュラム番号 小3 (13))

東支部長 八木 賢裕

東支部では11月3日(日) 犬と猫の皮膚科 村山信雄先生(アジア獣医皮膚科専門医)をお招きし、「皮膚病が治らない! どうしたら治るか考えてみよう」と題し学術講習会を開催いたします。皮膚科は内臓を表わす鏡と言われるように、皮膚症状を契機に重大な疾患が発見されることもあります。冬になっても治らない皮膚疾患に対して、どのように考えて治療していくのか? 日々の症例から診ていきたいと思ひます。

**日 時** 平成25年11月3日(日) 午後2時30分～午後6時頃まで(受付 午後2時～)  
(講演内容、休み時間などで多少前後いたします。)

**場 所** 春日部市商工振興センター アクシス春日部  
〒344-0062 春日部市粕壁東1-20-28  
TEL048-761-3181

東武伊勢崎線(スカイツリーライン)  
春日部駅東口下車 徒歩約7分  
**演 題** 「皮膚病が治らない! どうしたら治るか考えてみよう」

**講 師** 犬と猫の皮膚科 村山 信雄 先生  
(アジア獣医皮膚科専門医)

**参加費** 埼玉県獣医師会会員 1,000円  
(シラバス代、飲み物代含む)  
会員以外の受講者 5,000円  
(シラバス代、飲み物代含む)



当日の講演内容の録音、録画はお断りいたしております。お車の方はお近くの有料駐車場をご利用下さい。皆様のご協力をお願いいたします。

## 北支部・八日会ほか畜産関係団体合同学術研修会のお知らせ

(獣医師生涯研修事業ポイント対象 カリキュラム番号 産2 (1) ⑦)

埼玉県獣医師会北支部長 大橋 邦啓  
埼玉県八日会長 湯本 哲夫  
しゃくなげ会埼玉県支部長 柿沼 清市  
埼玉県畜産技術振興会会長 中村 陽二

北支部・八日会・しゃくなげ会埼玉県支部・畜産技術振興会では、北海道大学大学院獣医学研究科 動物疾病制御学講座 感染症学教室 今内覚先生をお招きし、合同して定例研修会を開催いたします。

多数の先生方のご参加をお待ちしております。

**日 時** 平成25年11月8日(金)

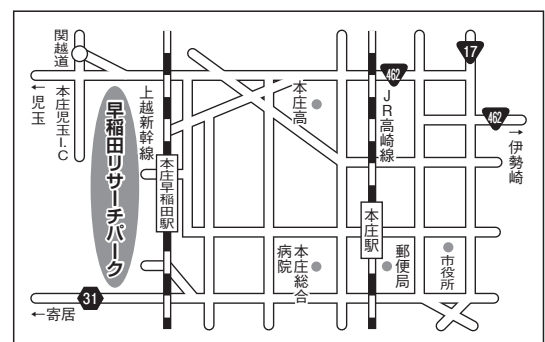
13:30～16:00

**場 所** 早稲田リサーチパーク  
コミュニケーションセンターレクチャームルーム1  
本庄市西富田1011  
TEL0495-24-7455

**演 題** 「牛白血病ウイルス(BLV)感染症の現状と対策」

**講 師** 北海道大学大学院獣医学研究科  
動物疾病制御学講座 感染症学教室 准教授 今内 覚 先生

**参加費** 埼玉県獣医師会・畜産技術振興会会員 無料



## 南第一支部・南第二支部合同学術講習会のお知らせ

(獣医師生涯研修事業ポイント対象 カリキュラム番号 小2 (1))

南第一支部長 田中 裕

南第二支部長 長澤 泰保

南第一支部・南第二支部では日本獣医生命科学大学の皆上大吾先生をお招きし、学術講習会を開催します。日頃の診察に役立つ細胞診についてご講義いただきます。

多数の先生方のご参加をお待ちしております。

日 時 平成25年11月17日(日) 14:00~16:45

場 所 さいたま共済会館 6階 第1ホール

さいたま市浦和区岸町7-5-14

TEL048-822-3330

演 題 「よくある細胞診の見方と考え方

Vol.2 一皮膚腫瘍を中心に」

講 師 日本獣医生命科学大学

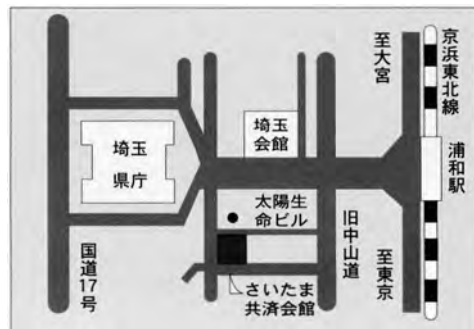
皆上大吾先生(獣医師・獣医学博士)

獣医保健看護学科臨床部門臨床検査学分野 講師

附属動物医療センター腫瘍科担当医

参加費 埼玉県獣医師会会員 無料

会員以外の受講者 5,000円



## さいたま市支部学術講習会のお知らせ

(獣医師生涯研修事業ポイント対象 カリキュラム番号 小2 (1) (4))

さいたま市支部長 新井 宣明

さいたま市支部では、11月24日(日)に日本大学の坂井 学先生をお招きして「犬の慢性肝炎の診断と治療」と題して講習を行います。

多くの先生方のご参加をお待ちいたします。

日 時 平成25年11月24日(日) 13:30~16:30

場 所 With You さいたま

さいたま市中央区新都心2-2

TEL048-601-3111

演 題 「犬の慢性肝炎の診断と治療」

講 師 日本大学 坂井 学 先生

参加費 埼玉県獣医師会会員 無料

会員以外の受講者 5,000円



## 西支部学術講習会のお知らせ

(獣医師生涯研修事業ポイント対象 カリキュラム番号 小2(4))

西支部長 三森 信行

西支部では11月24日(日)に眼科専門獣医師でもある、くにたち動物病院の遠藤雅則先生をお招きして点眼薬についての講習を行います。

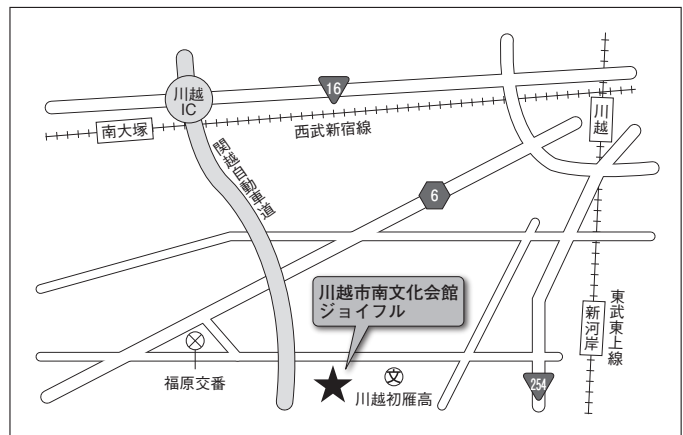
お忙しいところと思われますが、多数の先生方のご参加をお待ちいたします。

日 時 平成25年11月24日(日)  
13:30~16:30 (13:00受付開始)

場 所 川越市南文化会館 ジョイフル  
川越市大字今福1295-2  
TEL049-248-4115

演 題 「眼科疾患における点眼薬の使い方」

講 師 くにたち動物病院 遠藤雅則 先生



参加費 埼玉県獣医師会会員 無料  
会員以外の受講者 5,000円

## 北支部・八日会合同学術研修会のお知らせ

(獣医師生涯研修事業ポイント対象 カリキュラム番号 小2(1)(4))

北支部長 大橋 邦啓

八日会会長 湯本 哲夫

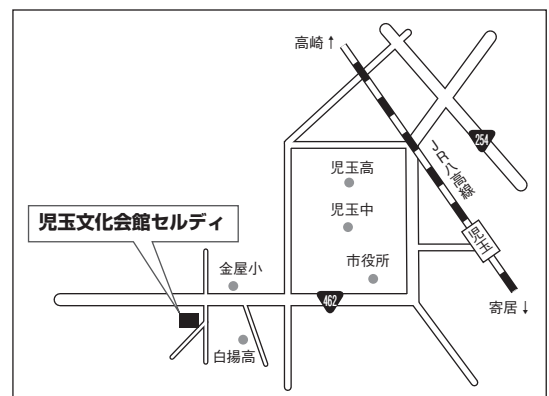
北支部・八日会では、「ふらつきや背部痛のある動物を、どう診断し、どう治療するか?」と題した研修会を企画いたしました。多数の先生方の出席をお待ちしております。

日 時 平成25年12月1日(日) 13:30~17:30

場 所 本庄市児玉文化会館 セルディ  
〒367-0216 埼玉県本庄市児玉町金屋728-2  
TEL0495-72-8851

演 題 「ふらつきや背部痛のある動物を、どう診断し、  
どう治療するか?」

講 師 日本大学生物資源科学部獣医学科獣医外科学教室  
専任講師 枝村一弥 先生



参加費 埼玉県獣医師会・八日会会員 無料  
会員以外の受講者 3,000円

## 新入会員報告

## 新 入 会 員



いとう こうた  
伊藤 宏太  
蕨市在住  
団体支部



しんじょう ゆうこ  
新城 優子  
蓮田市在住  
団体支部

## 勤務部会

| 支 部 名 | 氏 名     | 診療所名（勤務先）   |
|-------|---------|-------------|
| 団 体   | 伊 藤 宏 太 | 蕨市・ワラビー動物病院 |
| 団 体   | 新 城 優 子 | 蓮田市・八木動物病院  |

## 広告

動物 未来 みつめる ひろがる



ゼノアック  
**ZENOAQ**

動物用医薬品 製造販売

**日本全薬工業株式会社**

福島県郡山市安積町笹川字平ノ上1-1

代表取締役 **高野恵一**

URL : [www.zenoaq.jp](http://www.zenoaq.jp)

## 会員の活動報告

# ウガンダ共和国での家畜衛生技術協力



櫻井健一 先生

櫻井健一先生（農林支部）は、昭和49年から埼玉県庁に奉職され、長く家畜衛生分野を担当し平成20年3月に退職されました。退職後はこれまでの経験を活かしJICAのシニア海外ボランティアとして活動しておられます。平成18年から20年まではシリアに赴きその際の様子は「会報564号」に掲載させて頂きましたが、現在は、ウガンダ共和国で家畜衛生技術を指導しておられ、今回、一時帰国している機会を捉えて投稿して頂きましたので御紹介いたします。

## アフリカの国：ウガンダ共和国での家畜衛生技術協力

農林支部（元中央家畜保健衛生所長）

櫻 井 健 一

私は、平成22年9月から、また、平成23年4月からそれぞれ3カ月間、東アフリカのウガンダ共和国（ウガンダ）でJICAの「家畜疾病診断・管理体制強化計画プロジェクト\*」の短期専門家としてマケレレ大学獣医学部の家畜疾病診断センター（CDL）で家畜衛生技術の指導を行いました。ウガンダの概要、CDLでの活動の内容、ウガンダの生活について報告します。

ウガンダは、北に南スーダン、東にケニア、南にタンザニアとルワンダ、西がコンゴ民主共和国に接した内陸国です。南側にビクトリア湖に面していますが、すぐ脇にナイル川の源流があります。面積は日本の本州とほぼ同じで、人口は約3000万人、民族は50を超える部族があり、宗教はキリスト教が60%、伝統宗教が30%、イスラム教が10%です。気候は、赤道直下の国ですが国土の大半が1200mの高地にあるため首都カンパラでも平均気温が23度でしのぎやすい国です。人口の88%が農村地域に居住し農業分野が産業の重要な役割を占めています。ウガンダの家畜頭羽数は、2011年において乳用牛1140万頭、山羊1244万頭、羊341万頭、豚318万頭、鶏3738万羽であります。

短期専門家としての活動内容は、JICAの支援で設立されたCDLにおいてスタッフ（大学教員、特に助教レベル）、地方獣医事務所の獣医官、学部のボランティア学生らへの細菌学検査の指導と病性鑑定体制の整備です。私は、長期専門家3名（リーダー、業務調整、病理）、また、他分野の短期専門家や青年海外協力隊員らとラボラトリーを整備しつつ、病性鑑定の依頼のあった家畜検体から細菌の分離・同定の技術指導を行ってきました。派遣期間中に遭遇した家畜（乳牛、豚、山羊、鶏）の細菌性疾病は以下のとおりです。

### 乳牛のブルセラ病

6戸151頭の乳牛のブルセラ病抗体検査を凝集試験で行った結果、50頭（33%）が陽性でありました。この中の5検体から乳汁を採取し5%馬血清・ブルセラ選択剤加ブルセラ培地を使用し37℃ 5%炭酸ガス下で7日間培養しましたがブルセラ菌は分離出来ませんでした。

### 乳牛の乳房炎

乳牛の乳房炎について5戸48頭の乳房炎乳汁の検査を行いました。分離には5%羊血液加寒天培地、DHL寒天培地を使用し、*Staphylococcus aureus* 3戸10頭、*Streptococcus agalactiae* 2戸4頭、*Escherichia coli* 1戸1頭、*Pseudomonas aeruginosa* 1戸1頭などの細菌が分離されました。

### 豚の大腸菌症

2か月齢の発育不良豚1頭の病性鑑定を実施しました。解剖検査では、十二指腸に少量の黄色、泡状内容物が確認され、病理組織学検査では、十二指腸の絨毛が丸く、粘膜上皮に多数の桿菌が付着していました。細菌検査では、十二指腸の内容物からβ溶血性の細菌が10<sup>8</sup>CFU/g分離され、生化学的性状検査から大腸菌と同定されました。本症例は、病理・細菌学的検査成績から豚の大腸菌症と診断されました。



### 豚のレンサ球菌症

3 か月齢で皮膚に円形の湿疹の認められた死亡豚1頭の病性鑑定を実施しました。解剖所見で疣状心内膜炎がみられ、組織学的には心内膜の細胞浸潤が認められ心内膜炎が確認されました。細菌学的には、主要臓器から $\beta$ 溶血の微小なコロニーが分離され、生化学的性状検査により*Streptococcus dysgalactiae* subsp. *dysgalactiae*と同定されました。病理・細菌学的検査成績により本病は、同菌による豚レンサ球菌症と診断されました。

### 山羊のブルセラ病

5 か月間に14頭中12頭が流産を起こした山羊群の乳汁5検体を材料とし、5 %馬血清・ブルセラ選択剤加ブルセラ培地を使用し37℃ 5 %炭酸ガス下で7日間培養し1検体から純粋に細菌が分離されました。分離菌の生化学的性状検査により*Brucella melitensis*と同定され本病は*Brucella melitensis*によるブルセラ病と診断されました。初代分離菌を次に示しました。



流産した山羊の乳汁から分離された*Brucella melitensis*のコロニー



*Brucella melitensis*の同定指導

### 家禽チフス

2 農場の16月齢と20月齢の沈鬱症状の採卵鶏各2羽の病性鑑定の結果、4羽の肝臓と脾臓から、また別の2農場の死亡した2週齢（1羽）と12日齢（1羽）の心臓、肺、肝臓から細菌が分離されました。分離された細菌の生化学的性状検査により*Salmonella enterica* subsp. *enterica* serovar *Gallinarum* biovar *Gallinarum* (*Salmonella Gallinarum*) と同定されました。解剖所見では肝臓と脾臓に黄・灰白色班がみられ、病理組織検査では同器官に炎症反応を伴った壊死巣が多数確認されました。以上の病理・細菌学的検査成績より本病は、家禽チフスと診断されました。

### 鶏パラチフス

鶏の死亡ヒナ1羽の検査の結果、ヒナの脾臓から $H_2S$ 産生のコロニーが分離されました。分離菌は生化学的性状検査とサルモネラ・エンテリティーデスの抗血清により凝集が確認され、最終的に*Salmonella enterica* subsp. *enterica* serovar *Enteritidis* (*Salmonella Enteritidis*) と同定されました。この成績により死亡ヒナは、鶏パラチフスと診断されました。

### 家禽コレラ

半径2 km以内の地域の養鶏場で1000羽以上の鶏やアヒルが死亡しました。死亡鶏と衰弱した鶏2羽の細菌検査を実施した結果、2羽の肝臓から粘膿性のコロニーが分離され生化学的性状検査により*Pasteurella multocida*と同定されました。病理組織学検査では、肺の出血、肝臓の細胞浸潤、壊死、細菌塊が観察されました。以上の成績から、本病は家禽コレラと診断されました。

### 鶏の壊死性腸炎

900羽飼育の5 か月齢の採卵鶏で、衰弱、翼下垂等の症状を示し1日に2羽死亡しました。解剖所見では、空腸は肥大し粘膜に偽膜が認められ病理組織検査では十二指腸、空腸の粘膜上皮の壊死が確認され多数のグラム陽性大桿菌が付着していました。細菌検査では、嫌気培養により十二指腸内容物から溶血性のコロニーが $10^8$ CFU/g分離されました。分離菌は、生化学的性状検査により*Clostridium perfringens*と同定され鶏の壊死性腸炎と診断されました。

以上の症例などから病原性細菌の分離・同定を若いウガンダ人技術者らと共に実施して技術を習得してもらい、病理担当の専門家と協力し総合的な病性鑑定を実施することが出来ました。さらに、検査結果を地方獣医事務所の担当獣医官に報告し、疫学調査も一部実施しウガンダにおける病性鑑定体制の端緒を開くことが出来ました。

ウガンダでは、1LDKのアパートの部屋で生活しました。ウガンダは、食料も豊富でお米を中心に日本食で過ごしました。バナナ、マンゴー等の果物は特に美味しく毎日食べていました。唯一の楽しみは週2回アパートのサウナに入れることでした。アパートは、高さ2-3mのブロック塀、その上に鉄柵、鉄条網、電線のある塀に囲まれていましたが、残念なことに2回目の赴任の時の夜間就寝時に賊が侵入しパソコン（2台）、デジカメ、USBメモリー等を盗まれました。賊と対面することがなかったのが不幸中の幸いでした。改めて発展途上国で業務を行う時の安全性について留意させられた出来事でした。しかし、離任時にはCDLのスタッフや学生から感謝してもらい言葉に出来ない大きな喜びを感じました。機会があれば、今後ともウガンダでお役にたてばと思っています。

最後になりましたが、私を送り出してくれた家族、アドバイスをいただいたプロジェクトのスタッフ、JICAの関係者、CDLのスタッフ、マケレレ大学の職員に感謝いたします。

また、埼玉県獣医師会会員の皆様のますますの御発展と御健勝を祈念しております。

#### 家畜疾病診断・管理体制強化計画プロジェクト\*

*(The technical Assistant to Improve the National Diagnostic Capacity for Animal Disease Diagnosis and Control)*

本プロジェクトの目的は、ウガンダ農業畜産水産省の中央診断ラボラトリーとマケレレ大学獣医学部との連携により、家畜疾病診断体制が強化され、共同診断機関としての基礎を確立することである。  
(2010.6.21-2014.6.20)

## ひろば

### 新入会員の抱負 埼玉県獣医師会に入会して

北支部 川野 哲英  
(ピア動物クリニック)



愛犬「メイ」と

昨年より埼玉県獣医師会に入会させていただきました、川野哲英（かわのてつひで）と申します。

2001年に北里大学を卒業後、新潟県三条市で4年、埼玉県川越市で1年半、熊谷市で5年半の勤務医を経て2012年3月に深谷市で開業いたしました。幼少時から隣の熊谷市で育って来ましたので、地元で開業したいという希望を叶えることができました。

学生時代は繁殖学教室に在籍し、牛や馬などの大動物に触れる機会が多く貴重な経験をさせていただきました。また卒業後、小動物臨床の現場では未熟者の自分でしたが、諸先輩方から様々なことをご指導いただき大変感謝しています。

獣医師会に入会いたしまして、学術講習会への参加や、総会・懇親会で高橋会長はじめ諸先生方の貴重なお話を聞くことができ大変うれしく思っています。また、北支部深谷分会の先生方にも親切にいただき大変感謝しています。そして、獣医師会の活動を通して地域社会へ貢献していきたいと思っております。

これからも、日々学んでいかなければならないと思っておりますので、皆様のご指導のほどよろしくお願い致します。

## 北支部・八日会合同学術研修会開催報告

北支部長 大橋 邦啓  
八日会会長 湯本 哲夫

北支部・八日会合同学術研修会を、熊谷市「熊谷文化創造館 さくらめいと」にて8月25日(日)に開催いたしました。今回、酪農学園大学獣医学群獣医学類 伴侶動物医療分野 山下和人先生をお招きし、「より安全で痛みのない獣医療を目指して－伴侶動物の麻酔モニタリングと麻酔中の呼吸循環系異常に対する対応－」というテーマでご講演をいただきました。

山下和人先生には短い時間内に盛りだくさんの講演依頼で、ご無理、ご迷惑をおかけいたしました。ご参加いただきました先生方にとっては、たいへん有意義な研修会となったものと思います。

### <参加者内訳>

| 出席者 | さいたま市支部 | 南第一支部 | 南第二支部 | 西支部 | 北支部 | 東支部 | 団体支部 | 会員外 |
|-----|---------|-------|-------|-----|-----|-----|------|-----|
| 35名 | 1名      | 0名    | 0名    | 2名  | 19名 | 5名  | 1名   | 7名  |

## 平成25年度関東・東京合同地区獣医師 親善チャリティーゴルフコンペ結果報告

(公社) 埼玉県獣医師会ゴルフ同好会  
事務局 小堺 正人

時折降る雨の中開催された平成25年度関東・東京合同地区獣医師大会・学会の翌9月9日(月)、絶好のゴルフ日和の下、群馬県獣医師会(ゴルフ委員会)主催で親善チャリティーゴルフコンペが開催され、私共(公社)埼玉県獣医師会ゴルフ同好会より17名が参加しました。赤城山、榛名山、そして子持山を眺めながら他県獣医師会の先生方と楽しい一日を過ごすことができました。今年は震災後欠場していた栃木県も参加、三大会ぶりに10獣医師会が勢揃いしました。

今年も十分な練習を積んで臨んだ大会でしたが、数年来死守してきた団体戦3位以内の成績を残すことができず、新ペリアでの個人戦においても最高が東支部 森田良先生の7位と運も味方にはなってくれず悔しい結果になりました。

そんな中、ドライビングコンテスト賞を東支部の長谷川繁雄、高橋秀児両先生が獲得しました。また、数名の先生が飛び賞をいただき、和やかな雰囲気の中懇親会を終了し、来年山梨県での雪辱を誓いあいました。

### 団体戦結果

|     |      |          |    |     |
|-----|------|----------|----|-----|
| 優勝  | 東京都  | 319ストローク | 六位 | 茨城県 |
| 準優勝 | 神奈川県 | 328ストローク | 七位 | 横浜市 |
| 三位  | 群馬県  | 329ストローク | 八位 | 栃木県 |
| 四位  | 千葉県  | 330ストローク | 九位 | 川崎市 |
| 五位  | 埼玉県  | 330ストローク | 十位 | 山梨県 |





左から前列 岡田かおり先生(西支部)、中村久江先生(団体支部)、斎藤和也先生(さいたま市支部)、渋谷正志先生(東支部)

中列 新井宣明先生(さいたま市支部)、石井渉先生(さいたま市支部)、大野秀樹先生(北支部)、田口修先生(東支部)、森田良先生(東支部)

後列 長谷川繁雄先生(東支部)、小島満先生(北支部)、高橋秀児先生(東支部)、斉藤良幸先生(農林支部)、小堺正人先生(さいたま市支部)、田代卓也先生(農林支部)、友成公一先生(南第一支部)

円内は、豊泉正重先生(西支部)

## 第123回埼玉県獣医師会ゴルフ同好会コンペ報告

埼玉県獣医師会ゴルフ同好会 会長 斎藤 和也  
幹事 高橋 秀児  
大野 秀樹

去る9月19日、鴻巣市の鴻巣カントリークラブにおいて総勢25名で第123回埼玉県獣医師会ゴルフ同好会ゴルフコンペが開催されました。

当日は、大変さわやかな秋晴れで絶好のゴルフ日和となり各先生方、日頃の練習の成果を存分に発揮して頂きました。

懇親会は幹事の田口修先生(北支部)の司会のもとで、開宴に先立ち9月16日にご逝去された五十嵐幸男前埼玉県獣医師会会長に黙祷を捧げた後、同好会会長の斎藤和也先生に挨拶を頂き始めました。

懇親会では9月9日に行われた関東獣医師会チャリティーゴルフコンペの報告を小堺正人先生にして頂き、続いて成績発表、表彰式などを行い終始和やかな懇親会となりました。

主な成績は以下の通りです。

|       |         |         |
|-------|---------|---------|
| 優 勝   | 東支部     | 田口 修 先生 |
| 準 優 勝 | 農林支部    | 斉藤良幸 先生 |
| 3 位   | さいたま市支部 | 小堺正人 先生 |
| ベスト   | さいたま市支部 | 小堺正人 先生 |

なお、次回は田口修先生、斉藤良幸先生の幹事のもと12月5日(木)、東松山市の清澄ゴルフ倶楽部にて開催されます。

初参加、久しぶりの参加の先生、大歓迎ですので参加希望の先生は幹事の先生までご連絡ください。



左から 斉藤良幸先生、田口修先生、小堺正人先生



懇親会で会員の交流を深める

## お知らせ

## 日本獣医師会主催「2013動物感謝デー in JAPAN」開催案内

動物の健康を支える獣医師の役割とその活動の実情、多様性について広く国民の皆様に普及・啓発する、日本獣医師会主催秋の市民参加イベント「動物感謝デー」が下記のとおり開催されます。多くの皆様のご参加をお待ち申し上げます。

- 1 日 時 平成25年10月26日（土） 午前10時～午後4時30分
- 2 会 場 東京都立駒沢オリンピック公園 中央広場  
東急田園都市線「駒沢大学駅」下車 徒歩15分
- 3 テー マ 「動物と人の健康は一つ。そして、それは地球の願い。」
- 4 本県からの出展内容

## (1) 農場管理獣医師協会の活動状況の紹介

安全・安心な牛肉の生産に向け、「食肉情報認証システム事業」に取り組む会員獣医師の活動

- ・ パソコンを活用した牛肉の生産履歴情報検索の実演
- ・ パネル等によるシステムの紹介

## (2) 安全・安心な埼玉のブランド畜産物の紹介と試食・販売

農場管理獣医師の指導により飼料管理、衛生管理を徹底して生産された旨みたっぷりの牛肉「彩さい牛」の試食・販売

## (3) 埼玉の特産農産物（狭山茶）の紹介と試飲・販売

## 広告

動物病院・ペットショップなどのペット環境および施設の衛生管理に — ペットクリーンナビ

## PET CLEAN NAVI

M MORIKUBO



消臭・除菌  
ウイルス除去

## 二酸化塩素水

安心のペット環境づくりに。  
同梱のタブレットを溶解してご使用ください。

## 電解アルカリイオン水

洗浄・除菌

ペットと環境に優しいのに驚きの洗浄力！  
二度拭きいらずの洗浄・除菌水。



スプレー各1本入り  
のお得なセット



【容 量】 各 100 mL



森久保薬品株式会社

神奈川県厚木市栄町 1-8-17  
TEL: 046-222-2333(代)

東京: 042-564-2381 埼玉: 04-2968-0881 三郷: 048-948-2112 神奈川: 046-221-0620 ツクバ: 0296-43-1661

山梨: 055-224-5278 群馬: 027-230-3322 栃木: 028-666-3399 茨城: 029-241-3131 成田: 0476-40-5811 茂原: 0475-24-1613



「地方競馬益金補助事業」

彩の国

# 畜産フェア2013

## 牛乳乳製品フェア

安全と安心の食の祭り

### 10/5(土)

10:00~15:00

小雨決行

ところ：江南総合文化会館ピピア駐車場

★開催場所は裏面のMAPを見てね!★

地元(江南)の  
特産物の販売も  
あるよ!

県内畜産物が当たる  
ビンゴゲーム大会もあるので  
参加してね(先着100名)



楽しいイベント  
盛りだくさん!



同時開催

ミルク082による

乳ミュージックライブ

あそびに  
来てね!

ぎやうりやう じゅうばん  
牛乳が日本を  
げんき  
元気にしていきます。



(公財) 埼玉県公園緑地協会(こども動物自然公園)

他にもイロイロあるよ!

- 県産畜産物の試食・販売
- ビンゴゲーム大会
- 県産新米の試食のPR
- ふれあい動物園
- 乳しほり体験
- 地元農産加工品の即売コーナー
- 芋汁の販売、ビッグハンバーガーの販売
- 骨密度測定
- 農林総合研究センターの紹介



■主催：彩の国畜産フェア2013実行委員会（構成：埼玉県畜産会・J A全農埼玉本部・埼玉県酪農協会・埼玉県肉用牛経営者協会・埼玉県養豚協会・埼玉県養鶏協会・彩の国地鶏タマシヤモ普及協議会・埼玉県養蜂協会・埼玉県牛乳普及協会・埼玉県獣医師会・熊谷市・熊谷市観光協会江南支部・埼玉県）  
■協賛：(公財)埼玉県公園緑地協会





埼玉県

さいく  
彩の国さいたまボクたちが  
まってるよ!

# 動物愛護フェスティバル

## 2013

どうぶつあいご

主催 埼玉県・西入間狂犬病予防協会

後援 公益社団法人 埼玉県獣医師会

(お問い合わせ:埼玉県動物指導センター 048-536-2465)

みんなきてね  
記念品もあるよ



どうぶつ  
動物とふれあおう

ウサギ・モルモット  
とのふれあい

みて・きいてまなぼう

盲導犬のお話と実演  
聴導犬のお話と実演  
ペット健康相談

たのしもう

コバトン記念写真  
動物モール  
バルーン・折り紙

にちじ ばしょ  
日時・場所

10月13日(日)

午前10時~午後3時

坂戸市立勝呂(すぐろ)公民館  
(坂戸市石井1526)

ペットを連れての入場はできません。



## 訃 報

# 埼玉県獣医師会名誉会長 故 五十嵐幸男先生のご逝去を悼んで

我が国獣医界の偉大なる指導者、元日本獣医師会会長、前埼玉県獣医師会会長の五十嵐幸男先生に於かれましては、平成25年9月16日、肺炎のため急逝されました。(96歳)

通夜は21日午後6時から、葬儀・告別式は翌22日午前11時から、いずれも熊谷市円光の「メモリアル彩雲」に於いて、日本獣医師会及び埼玉県獣医師会会員協力の下、御長男の瀬山義幸様が喪主となり厳粛な中で執り行われ、熊谷市長 富岡清様、日本獣医師会会長 藏内勇夫様を始め、衆・参国會議員、大学及び関係団体や業界、埼玉県獣医師会を始めとする全国の獣医師会関係者等、多くの皆様が御会葬され、獣医界に非常に多くの足跡を残された五十嵐幸男先生との別れを惜しんでおりました。

謹んで御冥福をお祈り申し上げます。



微笑みかける五十嵐幸男先生



平成18年春の叙勲で旭日重光章を拝受



日本獣医師会会長の特別感謝状

## 追悼の辞

日本獣医師会 藏内勇夫会長の弔辞は、日本獣医師会関東地区選出業務執行理事 高橋三男埼玉県獣医師会会長が代理して厳粛に述べられました。



日本獣医師会会長の弔辞を述べる高橋三男会長

本日ここに、日本獣医師会顧問、元会長の五十嵐幸男先生の御葬儀に臨み、日本獣医師会を代表してご霊前に追悼の辞を申し上げます。

五十嵐先生は平素より敬服するばかりのご健康を誇り、常に我が国の獣医界の陣頭に立ち、御活躍されてこられました。本年6月に開催された第70回日本獣医師会総会においても、例年通りお元気で御出席いただきましたのが、つい昨日のように思えてなりません。今、ここに深い悲しみを抑えながら、先生の御遺影の前で在りし日の面影を忍びつつ、惜別の言葉を申し上げなければならないことは、痛恨の極みでございます。

五十嵐幸男先生は、大正6年に岩手県一関で誕生され、昭和13年に現在の国立学校法人岩手大学農学部的前身である盛岡高等農林学校獣医学科を卒業された後、陸軍獣医学校に入学され、その後は軍務に服され輝かしい軍歴をお持ちであります。終戦後は3年間に及ぶ苦難のシベリヤ抑留を経験され、復員後は熊谷佐谷田の地で産業動物の診療獣医師として開業され、生涯現役としての言葉通り獣医診療に従事されてこられました。我々がお慕いした五十嵐先生の温厚篤実の中に粘り強い御性格が見受けられましたのは、戦中・戦後を通して苦難の経験を経たことによるものと推察いたします。

その後は、不屈の精神力と国家を思う強いお気持ちをもち、わが国の復興と繁栄、特に獣医界や関連産業の発展に取り組まれました。この間、埼玉県獣医師会会長、農林水産省獣医師免許審議会委員、日本動物保護管理協会副会長、日本家畜人工授精師協会副会長、中央畜産会常任理事等、数々の要職を歴任されました。特に、日本獣医師会においては常任理事を5期15年、副会長を1期3年、会長を3期6年務められ、その後も顧問に就任されて今日まで長きにわたり御指導を賜りました。全国の会員並びに構成獣医師を代表して感謝を申し上げます。

今日の獣医界においては、多くの課題が山積していて、指導者を失うことは、誠に惜みても余りありますが、先生が常々我々に示された「徳義と和」を大切にする精神は、日本獣医師会の活動の礎として今後も我々の中に息づいていくものであり、末永く我々の歩む道をお見守りくださるようお願い申し上げます。

また、五十嵐先生は学術的にも自らの研鑽を怠ることなく、自らが切り開かれた臨床研究の道で、昭和40年に日本大学から獣医学博士号を授与され、更に、北里大学並びに日本大学で後進の育成に尽力されました。これらの先生の多くの御功績が称えられ、旭田重光章をはじめ、多数の輝かしい受章・表彰を受けられたことも、我々獣医界の誇りとするところであります。

幽明境を異にする永久の別れは、ただただ万感に迫り御霊前に深く頭を垂れるばかりでございます。惜別の情断ち難くはございますが、五十嵐幸男先生に最後の深甚なる敬意と感謝の念を捧げ、ご遺族の皆様方とともに謹んで御冥福をお祈り申し上げて、お別れの言葉といたします。

合 掌

平成25年9月22日

公益社団法人 日本獣医師会

会長 藏 内 勇 夫



## 日本獣医師会藏内勇夫会長 お別れの言葉



お別れの言葉を述べる藏内勇夫日本獣医師会会長

私どもが敬愛してやまなかった公益社団法人日本獣医師会第10代会長 故五十嵐幸男先生の御通夜に際し一言御挨拶を申し上げます。

本日は大変お忙しい中、地元熊谷市長様を始め、多くの皆様方にご参列を賜り、日本獣医師会会長として心から厚く御礼申し上げる次第であります。また、この御通夜を始め大変なお世話を頂きました、埼玉県獣医師会の高橋会長を始め、役員の皆様方にも重ねて御礼を申し上げる次第でございます。

生者必滅会者定離が人の世の定めとは申せ、今はもう、厳格な五十嵐先生の御英霊にこうして語

りかけることしか術のないことは、痛恨の極みであります。暖かい御指導を頂きました在りし日の五十嵐先生の思い出、お姿が走馬灯のように私の脳裏を駆けまわっております。

五十嵐先生は、正に我々日本獣医師会の鏡であり、今日の日本獣医師会の礎を造って頂きました大恩人でございます。

しかし今日日本は国際化や高度情報化の大波を受け、特に我々日本獣医師会は多くの課題を抱えております。

しかし私は、日本獣医師会執行役員一同、五十嵐先生が理想とされました日本獣医師会を築くために、熟慮断行し懸命の努力を重ねて参る所存でございます。そして必ずや天上の五十嵐先生にその麗樹の枝をお届けすることをお誓いを申し上げます。

名残りは尽きませんが、五十嵐先生の御冥福を心からお祈り申し上げ、お別れとさせていただきます。五十嵐先生、長い間、ご苦勞様でございました。

本日は皆様方、本当に有難うございました。

### 五十嵐幸男前会長の主な略歴 (旭日重光章祝賀会資料から)

|        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |           |                                                                                                                                                                                                           |
|--------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (生年月日) | 大正6年(1917年)1月19日生                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | (審議会歴)    | 獣医師免許審議会委員(農林省・S34.9～S38.9、S42.9～S48.9) 動物保護審議会専門委員(総理府・S55.12～S63.2)、その他、法律等に基づく委員を歴任                                                                                                                    |
| (学歴)   | 官立盛岡高等農林学校獣医科卒業(S13.3)<br>獣医学博士(日本大学・S40.3)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | (大学・学校関係) | (社)日本獣医学会評議員(S48.8～S53.3)、日本臨床獣医学会常任評議員(S32.4～S43.7)、北里大学畜産学部非常勤講師(S46.4～S49.3)、同大学客員教授(S49.10～H10.3)、日本大学農獣医学部非常勤講師(S46.10～H4.3)、同大学大学院獣医学研究科非常勤講師(H4.10～H10.3)、北里研究所客員部長(H9.4～H18.3)、埼玉栄養専門学校理事(S50.4～) |
| (職歴)   | 佐谷田獣医科医院開業(S23.5)<br>(社)埼玉県獣医師会会長(S56.6～H11.6)、同会名誉会長(H11.6～)、(社)日本獣医師会理事(S48.4～S50.5)、同会常任理事(S56.4～H8.6)、同会副会長(H8.7～H11.6)、同会会長(H11.7～H17.6)、(社)日本獣医師会顧問(H17.9～)、(社)日本家畜人工受精師協会理事(S41.4～S43.3)、同会副会長(S43.3～S48.5)、(社)日本装蹄師会理事(H元.3～H11.3)、(社)全国家畜産物衛生指導協会理事(H4.7～H8.7、H11.6～H17.6)、(社)中央畜産会常務理事(H11.6～)、(社)日本動物保護管理協会理事(S58.5～H8.6、H10.6～H11.6)、同協会副会長(H8.6～H10.6)、その他、地方団体等の役員を歴任 | (受章歴)     | 勲六等旭日章(S15.4)、勲五等瑞宝章(S18.2)、従六位(S19.12)、黄綬褒章(S56.4)、勲四等瑞宝章(S63.11)、旭日重光章(H18.4)                                                                                                                           |

## 切り抜きニュース

## 犬猫「殺処分ゼロ」目標 改正法飼い主責任明確化が追い風

飼い主の都合などで行政に引き取られ、やむなく殺処分される犬や猫の数は減少傾向とはいえ、県内で年間3千匹を超える。今月から施行された改正動物愛護法では、飼い主の責任が明確化された。県は企業や愛護団体などの力も借りながら、「殺処分ゼロ」を目指している。

越谷市の大型ショッピングセンター・イオンレイクタウン内にあるペットショップ「ペコス」。1匹30万～40万円の子犬が展示販売されるその数に先、値札のつかない中型の雑種犬がガラス越しにこちらを見ている。説明書きには「ここにいるワンちゃんは新しい家族をさがしています」。

2008年9月に店舗中央の客の目を引きやすい場所に設置された。引っ越しや犬の問題行動を理由に飼い主が途中で飼育を放棄するなどして、県動物指導センターに引き取られた犬の一部が、殺処分の危機を免れてここに引き取られる。

「こういう犬たちをみてもらわないと、いつまでたっても殺処分は減らない。安易に犬を飼うことがないようメッセージを発信できるのは、飼い主に一番近い我々なんです」。担当者の柘植由梨子さんはコーナー設置の狙いをそう語る。

飼いたいと申し出があってもすぐには渡さない。1～2カ月かけて家族に面談や講習会などを行い、最後まで責任を持って飼う覚悟や環境、適性などがあるかどうかを見極める。最終的に譲渡を断る場合もある。譲渡した犬が再び、動物指導センターやここに帰ってくるのがないようにするためだ。柘植さんは「ここに来た犬も、家族にもらわれたときの表情が一番やわらかい」と話す。

県生活衛生課によると、昨年度は県内で3444匹（犬908匹、猫2536匹）がやむなく殺処分された。ただ、同課主幹の橋谷田元さんによると、飼い主から保健所などに犬や猫の引き取り依頼があっても、「まだ、選択の余地があるケースもある」という。

県は依頼があっても安易に引き取ることはせず、飼い主に対して、引き続き飼ってもらうか、ダメなら周りに飼ってくれる人がいないか探してもらうよう粘り強く説得して、収容施設にできるだけ入れないようにしている。

それでも、保健所や収容施設で引き取らざるを得ない場合は、動物愛護団体に新しい飼い主を探してもらったり、県の譲渡施設で動物とふれあいながら新たな飼い主探しができる機会をつくったりして、殺処分される犬猫をできるだけ減らそうとしている。

県が掲げる目標は、3年後の16年度末に年間殺処分数を1千匹未満まで減らし、最終的にはゼロにすること。改正動物愛護法では動物の飼い主に最後まで飼う責任があることが明記され、自治体は高齢や病気などを理由にした引き取り依頼を拒否できるようになった。殺処分を減らす取り組みに「追い風になる」（橋谷田さん）とみられる。（稲垣大志郎）

### ■犬と猫の殺処分数

| 年 度  | 犬    | 猫    | 犬猫合計 |
|------|------|------|------|
| 2006 | 3605 | 5513 | 9118 |
| 2007 | 3119 | 4320 | 7439 |
| 2008 | 2571 | 4533 | 7104 |
| 2009 | 1847 | 3917 | 5764 |
| 2010 | 1350 | 3668 | 5018 |
| 2011 | 1212 | 3155 | 4367 |
| 2012 | 908  | 2536 | 3444 |

県の資料をもとに作成。単位は匹



新しい飼い主を待つ犬＝越谷市

### ■犬や猫の譲渡情報、迷子問い合わせ窓口

- ・県動物指導センターのホームページ（新しい飼い主さがし掲示板、収容動物情報などを掲載）  
<http://www.pref.saitama.lg.jp/soshiki/h24/>
- ・迷子動物検索テレホンサービス048・824・2170  
（平日午前9時～午後5時、県生活衛生課内）

朝日新聞 9月19日

## 44時間ぶり愛犬と再会 松伏の坂巻さん 一人暮らし唯一の心の支え

松伏町大川戸の無職坂巻サトさん(73)が4日、竜巻の発生直後から行方が分からなくなっていた愛犬・ケリーと約44時間ぶりの再会を果たした＝写真＝。ケリーは衰弱しきった様子だったが、けがはなかった。坂巻さんは「がれきが道を塞ぐ中よく戻ってきてくれた。絶対にまた会えると信じていた」と涙を流した。

ケリーは2年前に死去した夫・幸雄さんが、知人から2005年に譲り受けた雑種の雄。煮キャベツやカツオ

節をかけたご飯が好物で、1日2回の散歩には尻尾を振ってついてきた。幸雄さんの死後、一人暮らしとなった坂巻さんにとってケリーは唯一の心の支えだった。

竜巻が発生した時、坂巻さんは近所の友人宅にいた。あわてて自宅に戻ったが、窓ガラスが割れ、屋根の瓦も崩れていた。近所の大工に作ってもらった犬小屋も約5メートル飛ばされていた。ケリーは見当たらなかったが、坂巻さんは南越谷の次女の家避難した。「ケリーのことがずっと頭から離れず、なかなか眠れなかった」と話す。

ケリーは3日夜、親戚が片づけ作業をしている時に戻ってきた。4日朝になって、友人がケリーが戻ってきたことを知らせてくれ、4日午前10時頃、2日ぶりに愛犬を抱きしめて涙を流した。

多少やせ細ってはいたが、けがはなく、えさをやる

と喜んで食べた。「よく帰ってきてくれたね、ケリー。偉いよ」と声を掛けると、ケリーは汚れた足で何度も飛びつき、坂巻さんの白いかっぱう着が真っ黒になった。

(安藤 亨)



読売新聞 9月5日

平成25年度埼玉県獣医師会学術広報版

(平成25年9月20日現在)

| 年 月 日           | 産 業 動 物                                                                   | 小 動 物                                                                                                   | 公 衆 衛 生 |
|-----------------|---------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|
| 5月19日(日)        |                                                                           | 南第一支部・南第二支部<br>「僧帽弁閉鎖不全症の内科治療の限界と外科治療の可能性」<br>日本大学 上地正美 先生<br>(さいたま市 埼玉会館)                              |         |
| 6月15日(土)～16日(日) | 第86回獣医麻酔外科学会／第98回日本獣医循環器学会／第53回日本獣医画像診断学会<br>2013春季合同学会 (さいたま市 大宮ソニックシティ) |                                                                                                         |         |
| 8月25日(日)        |                                                                           | 北支部・八日会<br>「より安全で痛みのない獣医療を目指して伴侶動物の麻酔モニタリングと麻酔中の呼吸循環系異常に対する対応」<br>酪農学園大学 山下和人 先生<br>(熊谷市 熊谷文化創造館さくらめいと) |         |
| 9月8日(日)         | 平成25年度 関東・東京合同地区獣医師大会(群馬)獣医学術関東・東京合同地区学会<br>(群馬県渋川市 ホテル木暮)                |                                                                                                         |         |
| 9月15日(日)        |                                                                           | 東支部<br>「明日からの眼科診療に役立つシリーズ 犬種別眼科疾患：プードル・ヨークシャテリア」<br>どうぶつ眼科eye vet 小林一郎 先生<br>(越谷市 越谷サンシティ)              |         |
| 10月13日(日・祝)     |                                                                           | 東支部<br>「あなたは運動器疾患をどこまで診断できますか？」<br>日本大学 枝村一弥 先生<br>(越谷市 越谷サンシティ)                                        |         |
| 10月20日(日)       |                                                                           | 北支部・八日会<br>「麻酔学について(仮題)Ⅱ」<br>酪農学園大学 山下和人 先生<br>(熊谷市 熊谷文化創造館さくらめいと)                                      |         |

| 年 月 日                | 産 業 動 物                                                                                        | 小 動 物                                                                                  | 公 衆 衛 生                        |
|----------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------|
| 11月 3 日(日・祝)         |                                                                                                | 東支部<br>「皮膚病が治らない！どうしたら治るか考えてみよう」<br>アジア獣医皮膚科専門医 村山信雄 先生<br>(春日部市 春日部市商工振興センター アクシス春日部) |                                |
| 11月 8 日(金)           | 北支部・八日会ほか畜産関係団体<br>「牛白血病ウイルス (BLV) 感染症の現状と対策」<br>北海道大学 今内覚 先生<br>(本庄市 早稲田リサーチパークコミュニケーションセンター) |                                                                                        |                                |
| 11月17日(日)            |                                                                                                | 南第一支部・南第二支部<br>「よくある細胞診の見方と考え方」<br>日本獣医生命科学大学 皆上大吾 先生<br>(さいたま市 さいたま共済会館)              |                                |
| 11月24日(日)            |                                                                                                | さいたま市支部<br>「犬の慢性肝炎の診断と治療」<br>日本大学 坂井学 先生<br>(さいたま市 With You さいたま)                      |                                |
| 11月24日(日)            |                                                                                                | 西支部<br>「眼科疾患における点眼薬の使い方」<br>くにたち動物病院 遠藤雅則 先生<br>(川越市 南文化会館)                            |                                |
| 12月 1 日(日)           |                                                                                                | 北支部・八日会<br>「ふらつきや背部痛のある動物を、どう診断し、どう治療するか？」<br>日本大学 枝村一弥 先生<br>(本庄市 本庄市児玉文化会館セルディ)      |                                |
| 12月                  | 農林支部<br>平成25年度<br>埼玉県家畜保健衛生業績発表会                                                               |                                                                                        |                                |
| 12月15日(日)            |                                                                                                | 西支部<br>「猫の腫瘍の化学療法」<br>麻布大学 川村裕子 先生<br>(川越市 南文化会館)                                      |                                |
| 平成26年<br>1 月13日(月・祝) |                                                                                                | さいたま市支部<br>「演題：未定」<br>日本大学 枝村一弥 先生<br>(さいたま市 With You さいたま)                            |                                |
| 2 月21日(金)<br>～23日(日) | 平成25年度 日本獣医師会獣医学術学会年次大会（千葉）<br>(千葉市 幕張メッセ（国際会議場）)                                              |                                                                                        |                                |
| 2 月                  | 農林支部<br>関東甲信越家保業績発表会                                                                           |                                                                                        | 衛生支部<br>健康福祉研究発表会<br>食肉衛生技術研修会 |
| 3 月23日(日)            |                                                                                                | 西支部<br>「糖尿病診断と治療のアップデート」<br>東京大学 松木直章 先生<br>(川越市 南文化会館)                                |                                |



## 事務局メモ

ホームページ会員専用ページ 入室は URL <http://www.saitama-vmc.org/>

ID: SVMA (半角・大文字) パスワード: MITSUO (半角・大文字)

- |        |                                                      |           |                                                         |
|--------|------------------------------------------------------|-----------|---------------------------------------------------------|
| 8月25日  | 北支部・八日会合同学術研修会（熊谷市 熊谷文化創造館 さくらめいと）                   | 10月13日    | 彩の国さいたま動物愛護フェスティバル2013（坂戸市 勝呂公民館）                       |
| 9月3日   | 平成25年度第1回畜産懇話会（さいたま市 プリムローズ有朋）                       | 10月18日    | 内外情勢調査会埼玉県内6支部合同懇談会（さいたま市 大宮ラフォーレ清水園）                   |
| 9月8日   | 平成25年度関東・東京合同地区獣医師大会（群馬）、獣医学術関東・東京地区学会（群馬県渋川市 ホテル木暮） | 10月20日    | 北支部・八日会合同学術研修会（熊谷市 熊谷文化創造館さくらめいと）                       |
| 9月10日  | 清水志摩子氏の会長就任祝・激励する会（さいたま市 大宮ラフォーレ清水園）                 | 10月25日    | 平成25年度全国獣医師会会長会議（東京都港区 明治記念館）                           |
| 9月13日  | 2013動物感謝デーin JAPAN出展者説明会（東京都港区 日本獣医師会）               | 10月26日    | 日本獣医師会主催2013動物感謝デーin JAPAN（東京都世田谷区 都立駒沢オリンピック公園）        |
| 9月15日  | 東支部学術講習会（越谷市 越谷サンシティ）                                | 11月3日     | 東支部学術講習会（春日部市 春日部市商工振興センターアクシス春日部）                      |
| 9月20日  | 畜産フェア2013出展団体担当者会議（熊谷市 農林総合研究センター）                   | 11月8日     | 北支部・八日会ほか畜産関係団体合同学術研修会（本庄市 早稲田リサーチパークコミュニケーションセンター）     |
| 9月21日  | 埼玉県獣医師会名誉会長 故 五十嵐幸男先生通夜（熊谷市 メモリアル彩雲）                 | 11月17日    | 第37回全国育樹祭（熊谷市 彩の国くまがやドーム）                               |
| 9月22日  | 埼玉県獣医師会名誉会長 故 五十嵐幸男先生葬儀・告別式（熊谷市 メモリアル彩雲）             | 11月17日    | 南第一支部・南第二支部合同学術講習会（さいたま市 さいたま共済会館）                      |
| 9月28日  | 第15回日本臨床獣医学フォーラム年次大会2013（東京都千代田区 ホテルニューオータニ東京）       | 11月24日    | さいたま市支部学術講習会（さいたま市 With You さいたま）                       |
| 10月1日  | 第12回日本獣医師会総務委員会（職域総合部会常設委員会）（東京都港区 日本獣医師会）           | 11月24日    | 西支部学術講習会（川越市 南文化会館）                                     |
| 10月5日  | 彩の国畜産フェア2013（熊谷市 江南総合文化会館ピピア駐車場）                     | 12月1日     | 北支部・八日会合同学術研修会（本庄市 本庄市児玉文化会館セルディ）                       |
| 10月6日  | 第36回埼玉県獣医師会ソフトボール大会（吉見町 吉見総合運動公園）                    | 12月15日    | 西支部学術講習会（川越市 南文化会館）                                     |
| 10月8日  | 平成25年度関東地区獣医師会連合会会長会議（さいたま市 大宮ラフォーレ清水園）              | 平成26年     |                                                         |
| 10月9日  | 第2回獣医事調査委員会（さいたま市 埼玉県農業共済会館）                         | 1月13日     | さいたま市支部学術講習会（さいたま市 With You さいたま）                       |
| 10月13日 | 東支部学術講習会（越谷市 越谷サンシティ）                                | 2月21日～23日 | 平成25年度日本獣医師会獣医学術年次大会（千葉）（千葉県千葉市 幕張メッセ、アパホテル&リゾート東京ベイ幕張） |
|        |                                                      | 3月23日     | 西支部学術講習会（川越市 南文化会館）                                     |

## 編集後記

56年ぶりの東京オリンピックだ！高二の時、広い体育館のテレビで体操競技を見て以来だ！あの頃は別世界の大会の様な気がしていたが、東京で生で見られたら……と、ほのかに期待していた。大阪も含めると日本としては三度目で選ばれた訳だ、前回の反省も踏まえた長期間にわたる関係者の方々の努力が実った、皆良くやった。

全てが中途半端で目的意識がなく過ぎてしまっている現在の日本に、やる気と活力を興させるに違いない。そして母国日本を応援することによって、少しでも国民が一つになれば良いと思う。

そして、ドーピングしてスポーツをする文化は日本には流行らない。世界に日本人のフェアなプレーを見せてあげようではありませんか。

暴力やセクハラでの指導、やり過ぎたスポーツ団体の組織は早急に改革し、太田選手も言っていた、プレーするのはアスリートだ、アスリートが中心の五輪でなければいけない。

プレゼンテーションをたまたまライブで見た。特に印象に残ったのは高円宮妃久子様のプレゼンだった。こんな素晴らしい方が宮様のお妃だったのか？にこやかに微笑みながらフランス語と流ちょうな英語で会場の皆さんに語りかけ、一つひとつの言葉に自然に引き込まれた。東日本大震災への復興支援に対する感謝の気持ちも伝えた。宮様の影響もあって、ご自身の体育に向っている姿勢が素晴らしい。皇室の五輪招致活動には一切触れずのスピーチだった。誰だったか皇族を利用して……、と言っていたがその言葉は吹き飛んだ。他の王室の方々よりも自然に受け入れられて東京勝利の大きな力になったのではないだろうか。“大変お疲れ様でした”。

五輪開催の決定後、社会全体が浮かれて大変な騒ぎであるが、未だヨーロッパでも報道が止まらない福島原発、どれだけ出るのか汚染水の垂れ流し、地震、真夏の蒸し暑さなど心配は尽きないが、半世紀余り前とは違った日本の成熟した姿を世界に見せられる時が来た、日本の威信に賭けても成功裏に終わって欲しい。

7年後はどうなっているか解らないが、ゆったりと楽しんで見たいものである。

10月6日(日)は厚生委員会主催の第36回ソフトボール大会だ、36年にもなるが、今回は初めての会場の吉見総合運動公園だ、お昼のバーベキューは残念ながら会場の事情で出来ないが各会員の皆さん、賛助会員の皆さん、秋空の下、

五輪も決まってスポーツ一色の日本だ、晴天の下で一日楽しみましょう。

台湾で狂犬病の発生が第597号に掲載されたが、先日新聞に神奈川県的一般市民と思われる方から投書があった。「狂犬病 責任をもって予防しよう」と、台湾では発生後、捨て犬が増えてパニックになっていると言うのだ、日本も島国だ、我々獣医師しか予防は出来ないのであるから、開業、勤務に関係なく我々が危機感を持って予防しよう。

9月16日に我々が尊敬する五十嵐幸男名誉会長が急逝された。96歳だった。

長い間、栗田前会長、五十嵐会長と御兄弟で県獣医師会並びに日本獣医師会の中心で引っ張って戴いた。通夜並びに葬儀には藏内日本獣医師会会長を始めとして近藤副会長、関東近県獣医師会会長など多くの弔問の方々、そして数多くの県獣医師会に見送られ五十嵐先生の死を何度も何度も惜しんだ。高橋会長を先頭に大橋北支部長、北支部、事務局の皆さん大変ご苦勞様でした。五十嵐先生も天国で喜んでおられる事でしょう。

御導師さまから五十嵐先生は皆さんに徳を与えていた先生だったという言葉や、6月の総会での元気の秘訣は「朝はバナナ二房と何でも食べている」と言うお言葉が今でも耳に残る。五十嵐先生長い間大変お疲れ様でした、安らかにお休みください。

9月8日(日)に関東・東京合同地区獣医師大会が伊香保で開催され埼玉からも多くの会員さんが参加され、学会発表もされたが、埼玉の発表された先生方其々が素晴らしかったが、学会賞は残念ながら本年は開催県の群馬を始め他県に譲った。

10月になると埼玉県獣医師会の学術講習会がラッシュだ。他の県ではこれだけの多岐に渡った、そして内容の濃い講習会はありません。他県の会員からも羨ましがられている。開業会員の先生方には日曜日の午後、時間を作って勉強して戴くようお願いしたい。また、勤務医の先生方の受講機会も作ってあげてください。

また、10月26日(土)には駒沢公園で例年どおり日本獣医師会主催の「2013動物感謝デーin JAPAN」が、我が埼玉県の高橋会長が実行委員長となって開催される。そして「彩の国さいたま 動物愛護フェスティバル2013」も13日(日)に坂戸市勝呂公民館で10時から開催される、近くの会員の方は是非、足を運んでください。

(不動)



## 日本獣医師会・獣医師会活動指針

### － 動物と人の健康は一つ。そして、それは地球の願い。－

- 1 地球的課題としての食料・環境問題に対処する上で、生態系の保全とともに、感染症の防御、食料の安定供給などの課題解決に向け、「人と動物の健康は一つと捉え、これが地球環境の保全に、また、安全・安心な社会の実現につながる。」との考え方（One World-One Health）が提唱され、「人と動物が共存して生きる社会」を目指すことが求められている。
- 2 一方、動物が果たす役割は、食料供給源としてのほか、イヌやネコなどの家庭動物が「家族の一員・生活の伴侶」として国民生活に浸透するとともに、動物が人の医療・介護・福祉や学校教育分野に進出し、また、生物多様性保全における野生動物の存在など、その担うべき社会的役割は重みを増すとともに、一層多様化してきている。
- 3 他方、国民生活の安全・安心や社会・経済の発展を期する上で、食の安全性の確保や口蹄疫、トリインフルエンザ、狂犬病等に代表される新興・再興感染症に対する備えとともに、家庭動物の飼育が国民生活に普及する中で動物の福祉に配慮した適正飼育の推進が、更には、地球環境問題としての生物多様性の保全や野生鳥獣被害対策を推進する上での野生動物保護管理に対する関心が高まってきている。
- 4 我々、獣医師は、「日本獣医師会・獣医師倫理綱領－獣医師の誓い－95年宣言」が規定する専門職職業倫理の理念の下で、動物に関する保健衛生の向上と獣医学術の振興・普及を図ること等を通じ、食の安全性の確保、感染症の防御、動物疾病の診断・治療、更には、野生動物保護管理や動物福祉の増進に寄与するとの責務を担っている。
- 5 獣医師会は、高度専門職業人としての獣医師が組織する公益団体として、獣医師及び獣医療に対する社会的要請を踏まえ、国民生活の安全保障、動物関連産業界の発展による社会経済の安定、更には、地球環境の保全に寄与することを目的に、「動物と人の健康は一つ。そして、それは地球の願い。」を活動の理念として、国民及び地域社会の理解と信頼の下で、獣医師会活動を推進する。

#### 【参 考】

「One World-One Health」とは、動物と人及びそれを取り巻く環境（生態系）は、相互につながっていると包括的に捉え、獣医療をはじめ関係する学術分野が「ひとつの健康」の概念を共有して課題解決に当たるべきとの考え。2004年に野生生物保全協会（WSC）が提唱した。また、国際獣疫事務局（OIE）は、2009年に「より安全な世界のための獣医学教育の新展開」に関する勧告において、動物の健康、人の健康は一つであり生態系の健全性の確保につながるとする新たな理念として「One World-One Health」を実行すべきである旨を提唱している。





# コスモ理研株式会社

感染性廃棄物・廃試薬・有害産業廃棄物の処理のパイオニア

産廃エキスパート・専門性適合  
エコアクション21認証・登録  
東京都臨床検査技師会指定業者

## 地球環境への道しるべ "あんしん"への道

30余年の経験と実績

試薬 実験廃液  
ホルマリン  
アルコール  
医療器具・劇薬物品等

学 校  
研究施設

病 院  
医療施設

感染性廃棄物  
注射針・メス・検査キット  
実験動物・組織等  
医療廃棄物全般

残った消毒液  
パソコン  
汚泥  
期限切れ防災用品等

役 所

検査機関

各種廃液  
有機・無機・重金属・  
砒素・シアン・クロム  
水銀化合物等  
医薬品、実験器具

処理困難物（内容不明な廃液・試薬）水銀含有物、レセプト、医療機器等々、  
その他処分にお困りのものがございましたら、先ずはお気軽にお問い合わせ下さい。



これらの廃棄物は、  
㈱フレハ環境、  
野村興産㈱、  
東京臨海リサイクル㈱等  
群馬環境リサイクルセンター㈱  
シンシア㈱、  
都築鋼産㈱等で  
処分を行っています。

本 社:〒111-0053 東京都台東区浅草橋1-347 TEL 03-5820-1229 FAX 03-5687-6030

## コスモフレッシュ

安定化二酸化塩素水溶液  
二酸化塩素ゲル

最先端化学技術  
から生まれた  
空間除臭・除菌剤

接触感染防止  
塩素の3倍  
飛沫感染防止  
塩素の2.6倍

コスモフレッシュの効果  
二酸化塩素徐放技術によって、  
単なる消臭剤や芳香剤には不可能な  
【除菌】【消臭】【分解】  
の3つの効果で  
空間全体を衛生的な状態に保ちます

除菌 消臭

製品ラインナップ

防カビ

ウィルス  
除去



安定化二酸化塩素液  
対象物に直接吹きかけて使用する  
特徴は強力な消臭効果



二酸化塩素ゲル（専用ファン付）  
空間に二酸化塩素を発生させる  
特徴は強力な除菌効果

細菌やカビ臭いの元に  
直接作用して分解除去

動物の気になる  
臭いにも絶大な  
効果を発揮します



製品に関する  
お問い合わせは  
コスモ理研㈱まで

本 社 業 務 本 部: 埼 玉 県 越 谷 市 恩 間 新 田 70-3  
関 東 支 社: 茨 城 県 水 戸 市 内 原 町 1467-17  
京 支 社: 千 葉 県 八 千 代 市 菱 丸 1077-1  
埼 支 社: 埼 玉 県 越 谷 市 恩 間 新 田 70-3  
神 支 社: 神 奈 川 県 川 崎 市 多 摩 区 長 尾 7-17-13  
群 支 社: 群 馬 県 太 田 市 丸 山 町 1334

TEL 048-979-6381  
TEL 029-259-2951  
TEL 047-458-4057  
TEL 048-978-2621  
TEL 044-866-4506  
TEL 0276-36-1888